

7月号のテーマ／

最新情報や気になるワードも

猫医療の現場から

ねこのきもち編集室作成

今月のテーマ 手術

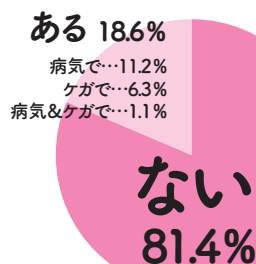
「手術」にまつわる、ねこのきもち読者の声

ねこのきもち読者に聞きました！

愛猫は手術を受けたことがありますか？(去勢・避妊手術以外)

※ねこのきもち編集室調べ

不妊手術を含めなくても、手術を経験した猫がなんと約2割という結果に！ とくに、病気での手術が多いようです



手術するときに飼い主さんができることは？

手術前後は愛猫の
体力と体調の管理に
注意しましょう

手術は猫の体力をとて消耗させるため、十分な体力が必要です。そのため手術の中には、生まれて間もない子猫や超高齢猫は受けられないものもあります。また、体力と同様、体調も手術の成功を左右するポイントに。不用意なストレスなどで猫が体調を崩さないよう、術前術後は、とくに気を付けて様子を見てあげる必要があります。

猫がよりよいコンディションで手術を受けるため、また術後の回復のため、飼い主さんのサポートは不可欠なのです。

術前は…

「いつも通り」を心がけて

猫は、急な変化や飼い主さんの異変に敏感です。術前は飼い主さんも緊張すると思いますが、なるべくソワソワしないようにしましょう。そのため、キャリーケースは直前に出すのではなく、前もって猫が見える場所に置いておくといよいでしょう



術後は…

抜糸がすむまで
なるべく安静に

手術を終えても、傷口がふさがるまで数日かかります。少なくとも抜糸までは、激しい遊びに誘うのは控えて。猫が休める場所をつくり、痛がっていないか、しぐさや表情に注意しましょう



イラスト／chizuru

アニコム損保
ご契約者がマイページから
定期購読をお申し込みすると

2号(2ヶ月分)
無料!!!



こちらの特集は
2018年6月号ねこのきもちに掲載中！
続きはぜひ本誌内でご覧ください♪